

# St.Peter's House

カトリック東京大司教区 ペトロの家

## 「ペトロの家」オープン・ハウス

ご来場のみなさまへ

### 〔ご挨拶〕

本日は、爽やかな秋の日の大切な一日を、わたしたちカトリック東京大司教区の新しい司祭の家、「ペトロの家」のオープン・ハウスのためにお時間を割いていただき、心から感謝いたします。

皆さまの多くの「祈り」と「援助」によって建築された「ペトロの家」を、入居者の神父様方の生活が始まる前に、ご紹介できることは幸いなことです。



### 〔背景と目的〕

すべてのカトリック司祭は、司祭（神父）になるとき「生涯独身であること」を誓います。それは「召命」と呼ばれ、生涯をとおして「神と人に仕える」生きがいに満ちた人生のはじまりを意味します。「司祭（神父）」は職業ではありません、したがって本来的には、「引退」もありません。しかし「司祭」も「弱い土の器」であることに変わりはなく、現場である教会を離れて「休息」を必要とすることがあります。

この「ペトロの家」は、現場で元気よく働き、少しだけ「休息」が必要となった司祭、高齢になった司祭、病気の司祭のための「家」です。そして、日々の祈りとミサをとおして「福音宣教」を続けるための「もう一つの現場」でもあります。

## 〔名前の由来〕

「ペトロの家」という名前の由来は、キリストの最初の弟子である「ペトロ」の名であると同時に、2009年12月30日に亡くなられた前責任者故ペトロ・白柳誠一枢機卿を偲びながら、この「家」が東京カテドラルとともにカトリック教会を大きな心で見守り続けるようにと、現・責任者ペトロ・岡田武夫大司教が命名いたしました。



## 〔施設概要〕

○居室は、全部で22部屋です。館長・副館長室をはじめ、事務室、ゲスト・ルームも確保いたしました。15名前後の神父様をお迎えできます。また、1階部分には、わたしたちの生活の中心であり大切な「祈りの空間」である「聖堂」があります。そして家族の場である「食堂」が置かれています。

○また、過渡的に「介護」が必要となった高齢の神父様のためのお部屋を1部屋だけ確保しています。しかし長期的には、高齢者施設への転院を検討します。

～すべてのカトリック司祭のやすらぎに満ちた祈りの日々を願って～

★本日は「ペトロの家」オープンハウスにご来場いただき誠にありがとうございました★

ペトロの家 館長

チェレスティーノ・カヴァニヤ

2010年10月11日